

様式1号(表面)

技術の提供・貨物の輸出の事前確認シート

記入年月日: 年 月 日

申請者	(フリガナ)		印 <small>(本人署名又は記名押印)</small>	所属・職名	
	氏名			E-mail	
			内線		

※学会参加の場合は【 】内について記載してください

相手先氏名 【学会名】		国名 【開催国】	
提供予定の 技術の内容 【発表テーマ】		相手先の 所属 【大会名】	
		取引予定期間 【参加期間】	~
輸出貨物の名称 (機器・試料 等の名称)		用途 (貨物の輸出 の場合)	

* 貨物の輸出の場合、相手先名・国名には貨物の最終の需要者(利用者)についてご記入ください。

該当する事項にチェックを入れ(■・✓)、裏面(フローチャート)のチェックを行ってください。

<input type="checkbox"/> 技術の提供	<input type="checkbox"/> 貨物の輸出 (<input type="checkbox"/> 自作品(改造機器、試料を含む)	<input type="checkbox"/> 購入品)
--------------------------------	----------------------------------	--	--------------------------------

以下は、裏面(フローチャート)のチェックにおいて、作成要となった場合のみ作成してください。

〔相手先に関する懸念情報〕 ※裏面フローチャートの『J』の箇所において、以下の懸念情報のチェックを行います。

相手先が、外国ユーザーリスト(※)に掲載されている。	□ はい □ いいえ
仕向地が、懸念国(イラン、イラク、北朝鮮)又は国連武器禁輸国・地域(アフガニスタン、中央アフリカ、コンゴ民主共和国、イラク、レバノン、リビア、北朝鮮、ソマリア、南スーダン、スーダン)である。	□ はい □ いいえ
相手先が、HP等の公表情報及び入手した情報から、大量破壊兵器等若しくは通常兵器、又はこれらに使用される技術的に高度な材料・部品・製品の開発等に関与している、又は過去関与していた疑いがある。	□ はい □ いいえ
提供する技術又は輸出する貨物が、HP等の公表情報及び入手した情報から、大量破壊兵器等(核兵器・化学兵器・生物兵器・ロケット・無人航空機)若しくは通常兵器、又はこれらに使用される技術的に高度な材料・部品・製品の開発等(開発、製造、使用又は貯蔵をいう。以下同じ。)に用いられる疑いがある。	□ はい □ いいえ
提供する技術又は輸出する貨物が、HP等の公表情報及び入手した情報から、核融合に関する研究、核燃料物質や原子炉等の開発等に用いられる疑いがある。	□ はい □ いいえ
提供する技術又は輸出する貨物が、HP等の公表情報及び入手した情報から、外国の軍若しくは警察又はこれらの者から委託を受けた者により、化学物質・微生物・毒素の開発等又は宇宙に関する研究に用いられる疑いがある。	□ はい □ いいえ
その他、相手先や用途について、安全保障輸出管理上の懸念情報を有している。(「はい」の場合下欄記載)	□ はい □ いいえ

※外国ユーザーリストは、経済産業省HPの「外国ユーザーリスト」(<http://www.meti.go.jp/policy/anpo/law05.html#user-list>)を参照して下さい。

上記のその他の懸念情報を「はい」とした場合、本欄にその理由を記入してください。

以下は申請者は記入不要

輸出管理責任者確認欄(該当のものにチェックを入れる)	確認欄	
上記の事前確認内容を確認し、以下のとおり判定いたします。 <input type="checkbox"/> 取引可 <input type="checkbox"/> 審査票の作成を要する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">助言・コメント等</div>	輸出管理責任者	輸出管理統括部署
	年 月 日	年 月 日
	印	印

(備考)

「審査票の作成を要する」とされた場合は、①「審査票(技術の提供・貨物の輸出入)(様式5)」と②「キャッチオール規制チェックシート(様式4)」を作成し、この書類(様式1)とこれまで作成・徴収した書類を全て添付して、研究・社会連携部へ提出してください。